

第51回施設従事者激励会に参加して

クリスマスを目の前にし、慌ただしい日々
に少々疲れが出ていた12月14日。「松
竹新喜劇」師走爆笑公演、ということで「い
っぱい笑って、寒い吹き飛ばさなあか
んねえ」などとしゃべりながら、道を急
ぎました。おいしいお弁当で、お腹が満
たされ、お芝居で、心が温かくなった。人
の情けの大切さを改めて考えさせられな
がら、大いに笑い、ホロリと泣けた。

翌日、職場では「泣けたねえ」「今の時
代に合ったいい内容で・・・」「心の栄養を
貰った。頑張らんとねえ」と挨拶がわりの
話も弾みました。

このような、リフレッシュの機会を与え
て下さった事を、感謝します。

藤川 繁美(聖母託児園)



毎年共済会は、従事者のためにいろ
いろと、激励会を催していただいております。

共済会だよりで、従事者の方達もご存
じとおもいますが、12月14日(金)大阪
松竹座で新生・松竹新喜劇を鑑賞させ
ていただきました。開幕前には式典が行
われ大阪府・市及び主催者の方達から「常
日頃、福祉現場でご苦労頂いている」ね
ぎらいの挨拶をいただきました。

いよいよ開演、題目は1. 朗らかな嘘
2. 帰ってきた男 3. 愚兄愚弟。面白く

楽しいお芝居の中に人情味を感じ笑い
と涙の感動的なシーンもあり、あつという
間に時間が流れていきました。幕間では
見た芝居の話題に花が咲いたり、思い
出し笑いも聞こえました。

毎日の仕事にも芝居で感じたことを反
映させてもらえることが多分にありました。
参加させていただき、楽しい一刻をもた
せていただきましたこと本当に有難うご
ざいました。第52回の催しを今から楽し
みにしています。

T. N(あすかの園)

あって、共済会をより発展させようでは
ありませんか。

川原田 正樹

(みなと地域在宅サービスステーション)

詩・俳句・川柳を
募集します。

短文を募集します。
(見聞されたこと感想文など何でも)

4コマまんが・イラストを
募集します。

いずれも3月号に掲載を予定しております
ので2月15日締切とさせていただきます。
また、感想文などは、300字以内でお願い
いたします。(郵送・FAX可)
なお、掲載させていただいた方には粗品
をお贈りいたします。奮って
ご応募下さい。



幸せいっぱいの共済会行事

共済会には、本当にお世話になって
いる。大阪の共済会は全国でも一番歴
史があり、その設立経緯も福祉に従事す
る人の身分保障(病気になったときの生
活保証など)を願って出来たものである。
今の時代から振り返ってみると、先輩の
ご苦労に頭が下がる。

私のことに限って言えば、福祉施設に
就職して結婚早々病気になり、3か月ほ
ど自宅療養したことがあった。その時、
当時の施設長が共済会の見舞金を預か
ってきてくれて、「托幸便」(こうびんに託
す)とふざけて、手渡してくれたことがあ
った。しかし、私にとって、ただの見舞金
ではなかった。けっしてほめられた話で

はないが、そこは若気のいたり。そのお
金をもってパチンコに行ったところ、10
回連続で終了(打ち止め台)したという
信じられない事が起こった。誠に有り難
い見舞金であった。

当時と比べ、今日の共済会は、規模も
内容も充実し、会員に提供されるメニュ
ーも多い。私は、野球大会や体育祭など
いろいろな事業に参加させていただいて
いる。皆さんも大いにサービスの恩恵を
受けようではありませんか。また、福利
厚生に関していろいろな意見を言おうで
はありませんか。身分保障もなかった時
代に苦労して創られた先人の方々に報
いるためにも、会員一人ひとりが協力し

共済会だより

FEBRUARY 2002
Vol.9



資産運用委員会



始動する

昨年11月に設置いた
しました資産運用委員会は、
第1回目を平成13年12月22日
(土)、第2回を平成14年1月12日(土)
に開催した。

これは、バブル経済が崩壊後、これまで安全とされていた金
融機関が破綻するなど、より安全に資産(年金基金)を運用す

ることが重要になってい
ることや、長引く低金利時
代が続いていることが影響し、
退職制度を維持していくうえの予定利率
より実際の運用利率が下回っているため、積立不足が発生し
ていることで、これからの健全な資産運用のあり方について検
討に入った。

第1回 資産運用委員会

協議事項

1. 本会退職年金制度の問題点
 - ①資産運用委託先の信用リスクに対するチェック体制
 - ②資産運用委託先の運用状況のチェック体制
 - ③予定利率と運用成果の乖離による積立不足の発生
 - ④差額給付制度の目的達成と社会環境の変化
2. 金融機関の現況
 - ①各信託銀行の比較
(企業年金受託残高・自己資本比率・不良債権処理・
株価・格付)
3. 本会年金基金の運用の現況
 - ①市場環境の変化と運用実績
(国内債券・転換社債・国内株式・外国債券・外国株
式・その他)
 - ②資産配分の状況と運用実績の見込み
(配分実績・市場予想・配分計画・決算見込み)
4. 新しい制度への検討
 - ①社会環境の変化に伴い退職金の給付目的・給付水準を

- ②運用実績・運用方針に基づいた予定利率をどうするか?
 - ③現行制度の既得権をどうするか?
 - ④福利厚生事業のサービスをどうするか?
5. 運用コンサルタントから資産運用の基本についての説明
・資産運用の考え方の基本として資産運用サイクルと投
資目的に沿った資産配分について説明を受けた。

決定事項

- (1) 新制度の予定利率引き下げを決定
5.5%から3.0%へ
・現在の年金財産の資産配分(国内債券40%・国内株式
25%・転換社債3%・外国債券7%・外国株式17%・キャッ
シュ等8%)の中長期(5年)の期待収益率5.3%
・過去5年(平成8年度～平成12年度)の修正総合利回り
3.18%
・予定利率の大幅な引き下げは、給付率のダウン、ある
いは、掛金率の引き上げを伴うので、総合的に勘案して
3.0%が妥当と考えられる。



広報「共済会だより」 第9号
発行日:2002年2月1日



財団法人
大阪民間社会福祉事業
従事者共済会

〒542-0012 大阪市中央区谷町7丁目4番15号
TEL 06-6768-8144 (代表)
FAX 06-6768-9362
E-mail info@kyosaikai.or.jp
Homepage http://kyosaikai.or.jp/